

2016年3月期決算の概要と 2017年3月期見通しについて

2016年5月12日
東レ株式会社

目次

I. 2016年3月期決算の概要

2016年3月期連結決算概要	(P3)
売上高・営業利益の推移	(P4)
総資産・D/Eレシオ、ROA・ROE	(P5)
営業外収支	(P6)
特別損益	(P7)
資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー	(P8)
セグメント別売上高・営業利益	(P9)
セグメント別業績	(P10-17)
営業利益増減要因分析	(P18)
主要子会社収益状況	(P19)
従業員数、関係会社の異動	(P20)

II. 2017年3月期連結業績見通し

2017年3月期連結業績見通し	(P22)
セグメント別業績見通し	(P23)
設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移	(P24)

III. “プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況

“プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況	(P26-31)
連結営業利益の推移	(P32)

I . 2016年3月期決算の概要

2016年3月期連結決算概要

単位：億円

	15年3月期			16年3月期			通期 増減
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	9,480	10,628	20,107	10,286	10,759	21,044	+937 (+4.7%)
売上原価	7,623	8,492	16,115	8,112	8,514	16,626	+511 (+3.2%)
売上総利益	1,857	2,136	3,993	2,174	2,245	4,419	+426 (+10.7%)
(売上高総利益率)	19.6%	20.1%	19.9%	21.1%	20.9%	21.0%	+1.1 ポイント
販売費及び一般管理費	1,343	1,414	2,758	1,422	1,451	2,874	+116 (+4.2%)
(売上高販管費比率)	14.2%	13.3%	13.7%	13.8%	13.5%	13.7%	-0.1 ポイント
営業利益	513	722	1,235	751	794	1,545	+310 (+25.1%)
(売上高営業利益率)	5.4%	6.8%	6.1%	7.3%	7.4%	7.3%	+1.2 ポイント
営業外収支	52	▲1	51	4	▲47	▲43	-94
経常利益	565	721	1,286	755	747	1,502	+216 (+16.8%)
特別損益	▲21	▲120	▲141	▲28	▲95	▲124	+17
税前利益	544	601	1,145	727	651	1,378	+233 (+20.4%)
親会社株主に帰属する当期純利益	413	298	710	494	407	901	+191 (+26.9%)
1株当たり当期純利益	25.70円	18.61円	44.33円	30.93円	25.45円	56.38円	
1株当たり配当金	5.00円	6.00円	11.00円	6.00円	7.00円	13.00円	

為替レート
<円/US\$>

(前期) → (当期)
 期中平均 : 109.9 → 120.1
 期末 : 120.2 → 112.7

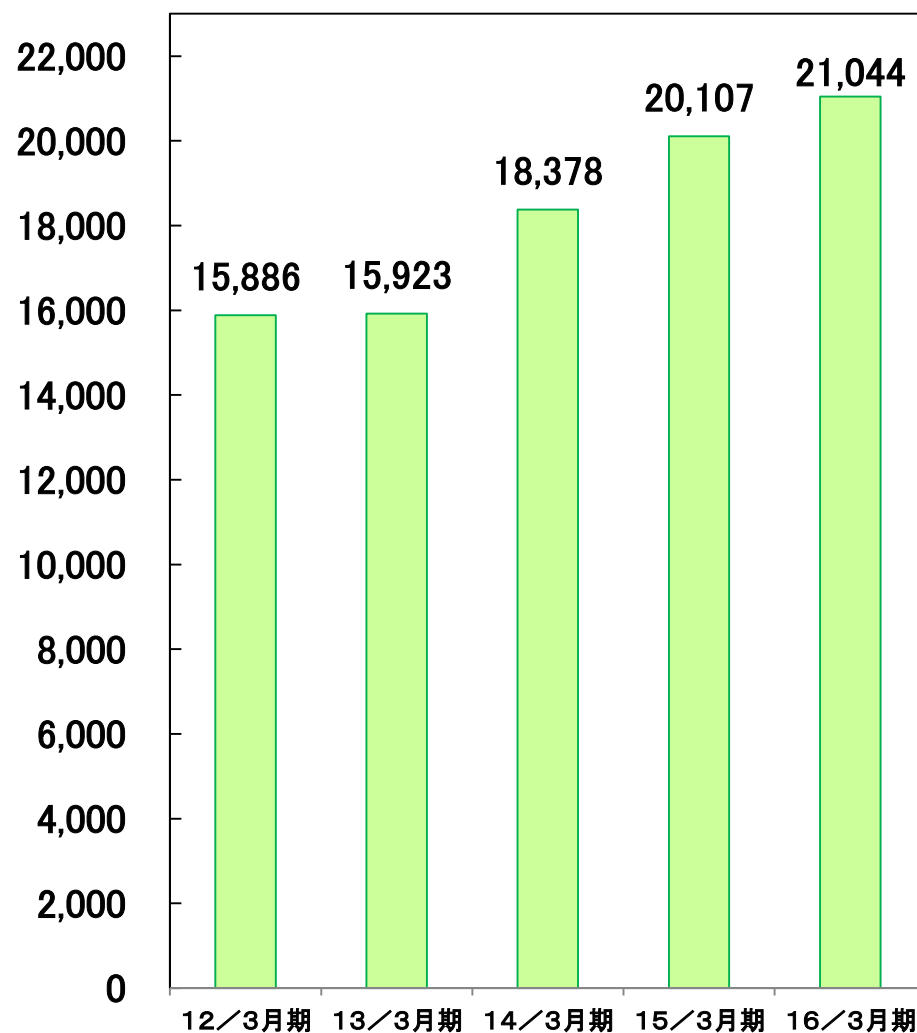
<円/ユーロ>

(前期) → (当期)
 期中平均 : 138.8 → 132.6
 期末 : 130.3 → 127.7

売上高・営業利益の推移

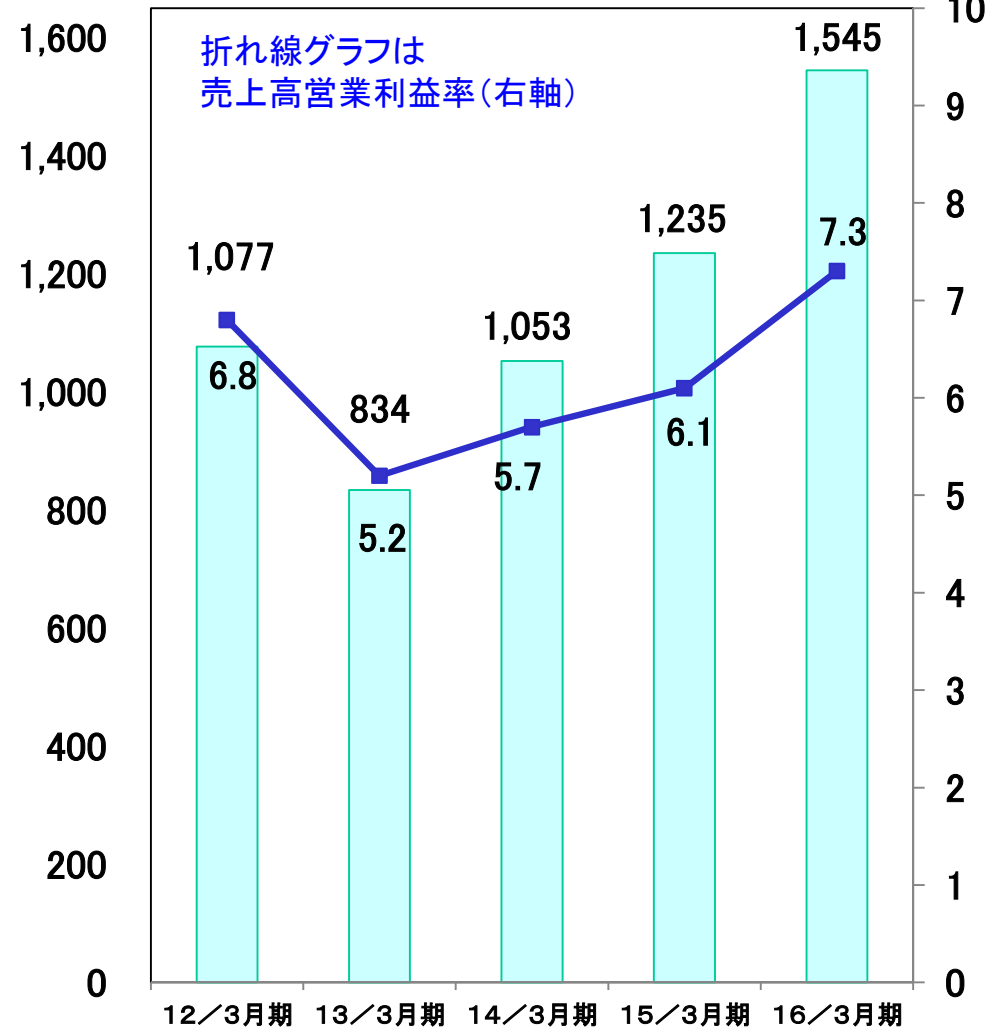
売上高

億円

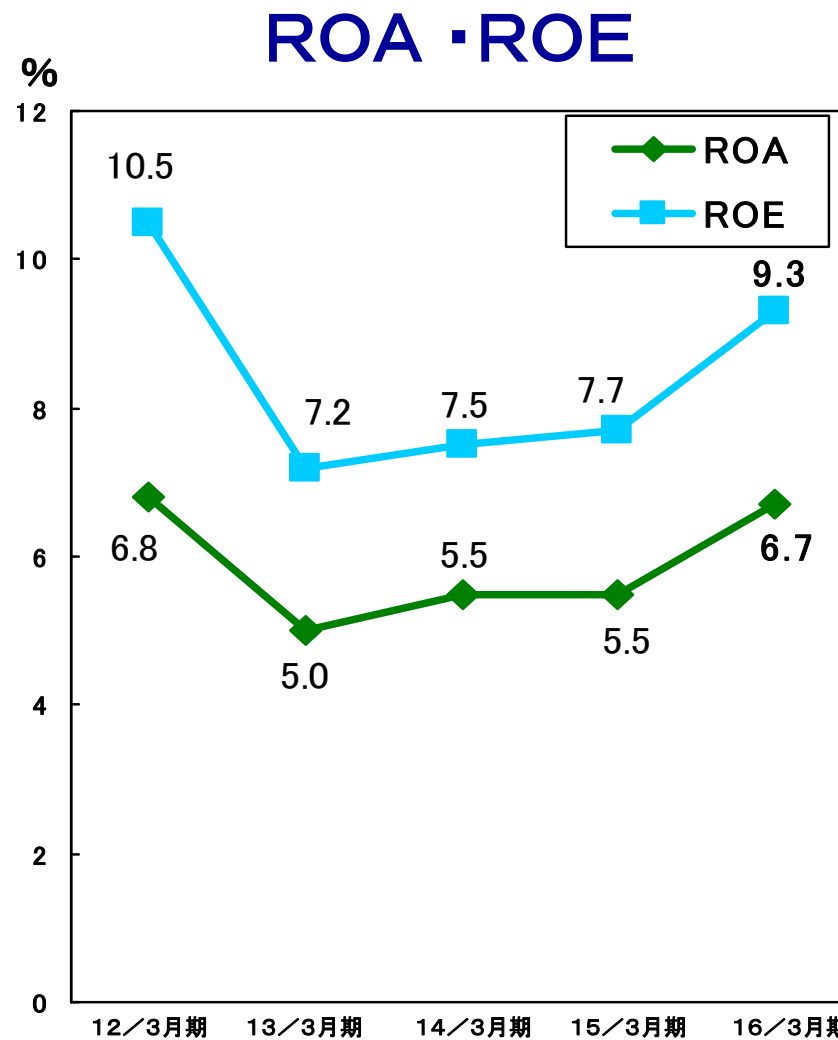
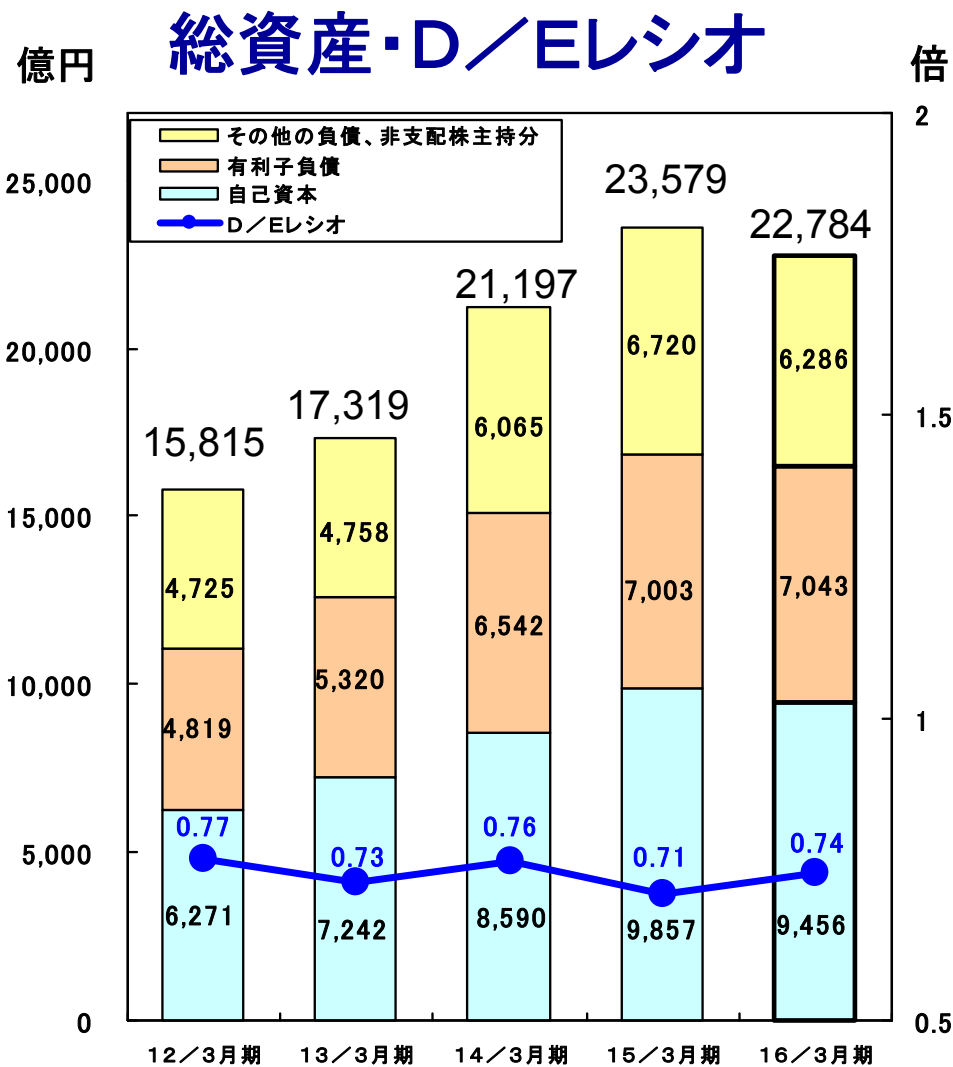


営業利益

億円



総資産・D/Eレシオ、ROA・ROE



ROA = 営業利益 / 総資産

ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 / 自己資本

営業外収支

	15年3月期	16年3月期	増減
営業外収益	220	149	-71
受取利息及び配当金	41	50	+9
持分法による投資利益	118	50	-68
為替差益	21	-	-21
雑収入	40	48	+8
営業外費用	▲ 169	▲ 192	-23
支払利息	▲ 63	▲ 54	+10
為替差損	-	▲ 24	-24
新規設備操業開始費用	▲ 22	▲ 12	+10
休止設備関連費用	▲ 28	▲ 42	-14
雑損失	▲ 56	▲ 61	-5
営業外収支	51	▲ 43	-94
金融収支	▲ 22	▲ 3	+19

億円

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益

億円

	15年3月期	16年3月期	増減
特別利益	18	60	+41
有形固定資産売却益	5	10	+5
投資有価証券売却益	5	45	+39
関係会社株式売却益	7	1	-5
その他	2	4	+2
特別損失	▲ 159	▲ 183	-24
有形固定資産処分損	▲ 62	▲ 61	+1
減損損失	▲ 79	▲ 91	-11
投資有価証券評価損	▲ 1	▲ 22	-21
その他	▲ 18	▲ 10	+8
ネット特別損益	▲ 141	▲ 124	+17

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	15年3月末	16年3月末	増減
資産合計	23,579	22,784	-795
流動資産	10,179	10,096	-83
有形固定資産	8,556	8,306	-250
無形固定資産	985	872	-113
投資その他	3,860	3,511	-349
負債合計	12,772	12,535	-237
流動負債	6,009	5,713	-295
固定負債	6,763	6,821	+58
純資産合計	10,808	10,249	-558
自己資本	9,857	9,456	-401
自己資本比率	41.8%	41.5%	-0.3 ポイント

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

	15年3月期	16年3月期	増減
営業活動	1,413	1,961	+549
投資活動	▲1,407	▲1,544	-138
フリー・キャッシュ・フロー	6	417	+411

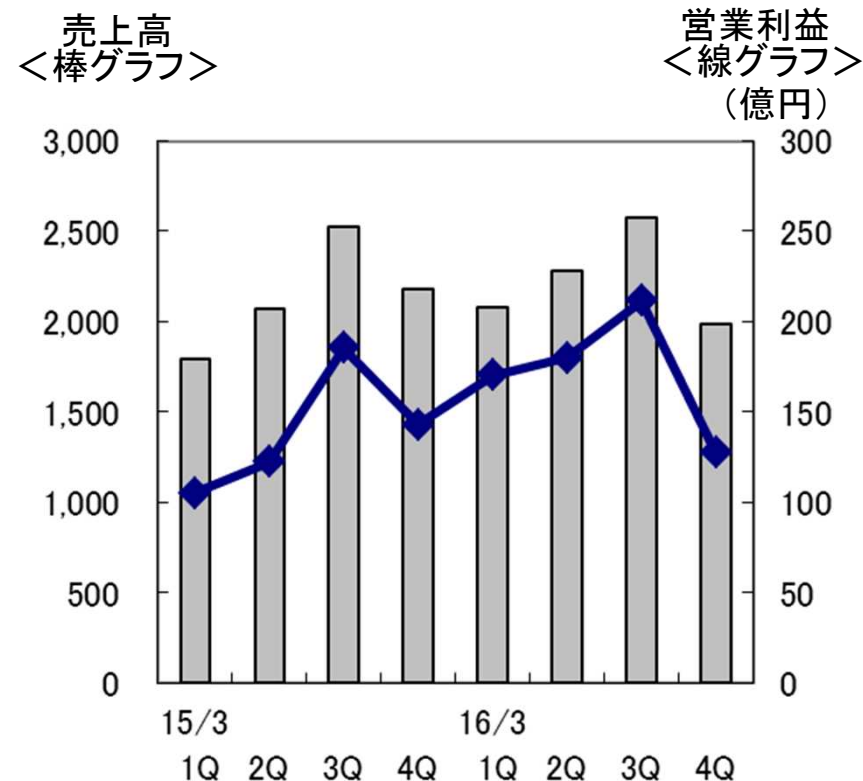
セグメント別売上高・営業利益

		売上高			営業利益			億円
		15年 3月期	16年 3月期	増減 (%)	15年 3月期	16年 3月期	増減 (%)	
繊維	上期	3,862	4,358	+497 (+12.9%)	228	350	+123 (+54.0%)	
	下期	4,705	4,562	-143 (-3.0%)	328	339	+10 (+3.1%)	
	通期	8,567	8,920	+354 (+4.1%)	556	689	+133 (+23.9%)	
プラスチック・ケミカル	上期	2,462	2,572	+110 (+4.5%)	117	157	+39 (+33.6%)	
	下期	2,502	2,640	+139 (+5.5%)	122	137	+16 (+12.9%)	
	通期	4,964	5,212	+249 (+5.0%)	239	294	+55 (+23.1%)	
情報通信材料・機器	上期	1,218	1,250	+31 (+2.6%)	103	120	+16 (+16.0%)	
	下期	1,261	1,261	-0 (-0.0%)	142	142	+0 (+0.0%)	
	通期	2,480	2,511	+31 (+1.2%)	245	262	+17 (+6.8%)	
炭素繊維複合材料	上期	766	943	+177 (+23.1%)	118	186	+68 (+57.9%)	
	下期	817	919	+102 (+12.4%)	145	175	+31 (+21.3%)	
	通期	1,584	1,862	+278 (+17.6%)	262	361	+99 (+37.7%)	
環境・エンジニアリング	上期	834	826	-8 (-0.9%)	21	16	-5 (-22.3%)	
	下期	966	1,007	+41 (+4.3%)	59	80	+20 (+34.1%)	
	通期	1,800	1,833	+33 (+1.9%)	80	96	+16 (+19.5%)	
ライフサイエンス	上期	265	264	-1 (-0.5%)	17	6	-11 (-63.6%)	
	下期	305	295	-11 (-3.5%)	24	24	+1 (+3.3%)	
	通期	570	558	-12 (-2.1%)	41	31	-10 (-24.7%)	
その他	上期	72	72	-0 (-0.0%)	7	5	-2 (-28.2%)	
	下期	71	75	+4 (+5.6%)	12	14	+3 (+22.2%)	
	通期	143	147	+4 (+2.8%)	19	20	+1 (+3.2%)	
調整額	上期				▲ 98	▲ 89	+9	
	下期				▲ 110	▲ 118	-8	
	通期				▲ 207	▲ 207	+0	
連結	上期	9,480	10,286	+806 (+8.5%)	513	751	+238 (+46.4%)	
	下期	10,628	10,759	+131 (+1.2%)	722	794	+72 (+10.0%)	
	通期	20,107	21,044	+937 (+4.7%)	1,235	1,545	+310 (+25.1%)	

セグメント別業績(繊維)

単位: 億円

		15年3月期	16年3月期	増減	
売上高	東レ	1,851	1,918	+67	(+3.6%)
	国内	4,520	4,668	+149	(+3.3%)
	海外	4,907	5,326	+419	(+8.5%)
	修正	▲ 2,711	▲ 2,993	-281	
	計	8,567	8,920	+354	(+4.1%)
営業利益	東レ	134	175	+41	(+30.2%)
	国内	125	133	+8	(+6.0%)
	海外	314	410	+97	(+30.8%)
	修正	▲ 17	▲ 29	-12	
	計	556	689	+133	(+23.9%)



国内：衣料用途は需要が低調で、産業用途も自動車関連用途向けの一部で顧客による在庫調整の影響が出る中、全般的に拡販に努めるとともに、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの推進をはじめとする事業の高度化などを進めることで採算の改善に注力。

海外：欧州需要の低迷や中国内需の伸び悩みの影響を受けたが、中国や東南アジアのテキスタイル子会社が拡販と高付加価値品へのシフトを進めた。またエアバッグ用基布や内装材料といった自動車関連用途向けが堅調に推移し、衛生材料向けも東南アジアやインドにおける需要が拡大。

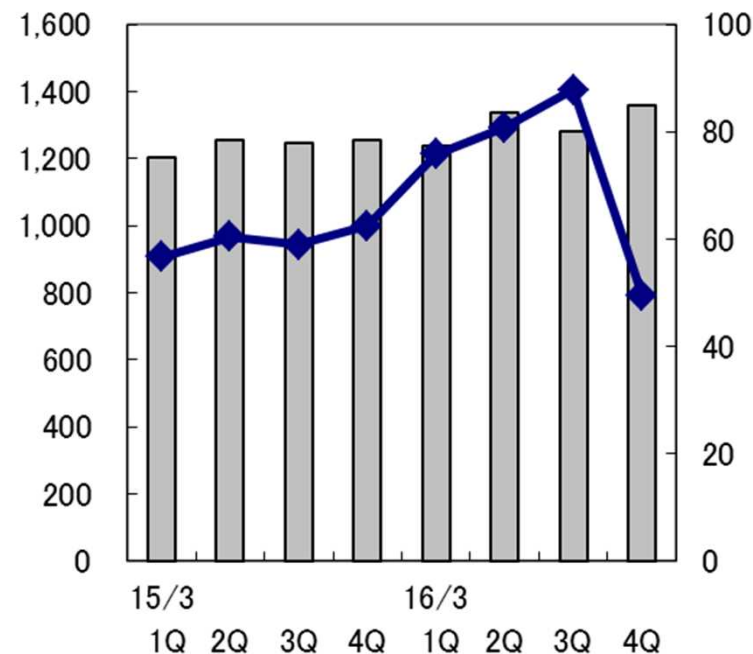
セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

単位: 億円

		15年3月期	16年3月期	増減	
売上高	東レ	1,394	1,221	-173	(-12.4%)
	国内	3,660	3,887	+227	(+6.2%)
	海外	3,659	3,467	-191	(-5.2%)
	修正	▲ 3,748	▲ 3,362	+386	
	計	4,964	5,212	+249	(+5.0%)
営業利益	東レ	23	47	+24	(+104.8%)
	国内	88	73	-14	(-16.4%)
	海外	130	173	+43	(+33.2%)
	修正	▲ 2	0	+2	
	計	239	294	+55	(+23.1%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



樹脂事業 : 国内では自動車関連用途向けの出荷が生産台数減少の影響を受けたが、それ以外の用途は全体として堅調。海外では米国の子会社で自動車関連用途向けの出荷が拡大し、マレーシアの子会社もABS樹脂の出荷が堅調に推移。

フィルム事業: 包装用途向けが国内外で堅調。また、多くの用途で価格競争の影響を受けたが、高付加価値品の拡販や原価改善に注力することで採算の改善に努めた。

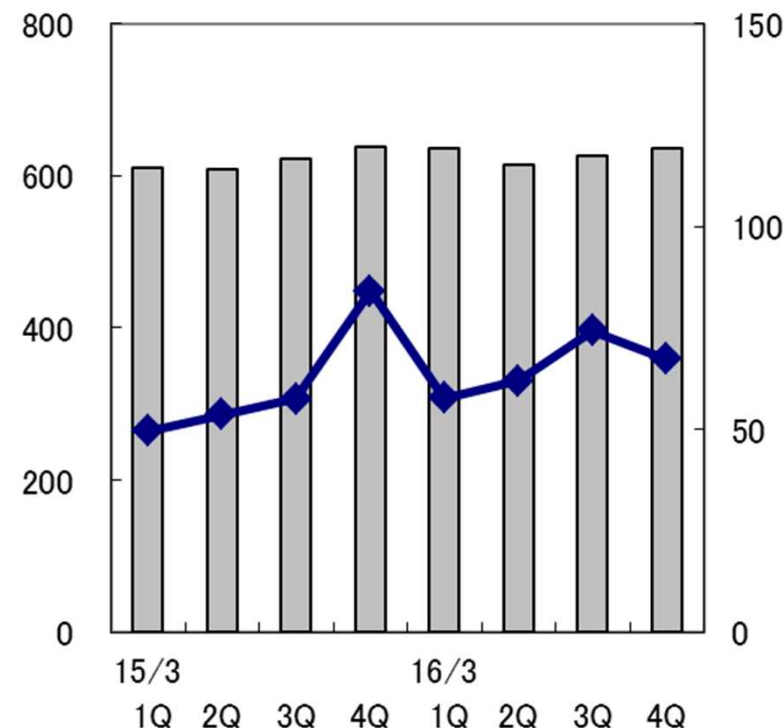
セグメント別業績(情報通信材料・機器)

単位: 億円

売上高
棒グラフ

営業利益
線グラフ
(億円)

		15年3月期	16年3月期	増減	
売上高	東レ	907	870	-37	(-4.0%)
	国内	981	1,082	+100	(+10.2%)
	海外	1,012	1,003	-9	(-0.9%)
	修正	▲ 421	▲ 444	-24	
	計	2,480	2,511	+31	(+1.2%)
営業利益	東レ	69	60	-9	(-12.5%)
	国内	93	109	+16	(+16.9%)
	海外	115	126	+12	(+10.4%)
	修正	▲ 32	▲ 34	-2	
	計	245	262	+17	(+6.8%)



大型液晶パネル向けでは、大画面化が進展し4Kテレビの需要も拡大したが、フィルム・フィルム加工品等の関連材料は、中国をはじめ新興国における需要拡大鈍化を背景とした顧客の生産調整の影響を受けた。スマートフォンやタブレット端末の関連材料は、韓国の子会社で高機能回路材料の出荷が拡大するなど、堅調に推移。また、国内子会社が液晶カラーフィルター製造装置等の販売を拡大。一方で、各材料とも引き続き価格競争の影響を受けており、原価改善などにより採算の維持に努めた。

情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高比率】

単位：億円

	15年3月期		16年3月期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	838	34%	699	28%	-17%
電子部品・半導体・回路材料	1,097	44%	1,194	48%	+9%
記録材料	337	14%	304	12%	-10%
機器他	207	8%	314	13%	+52%
合計	2,480		2,511		+1%

ディスプレイ材料：フィルム及びフィルム加工品は、テレビの需要低迷の影響を受けた。

電子部品・半導体・回路材料：電子部品向けフィルムや韓国子会社の高機能回路材料が堅調に推移。

記録材料：全般的に低調に推移。

機器他：液晶カラーフィルター製造装置及びその他IT関連機器の販売が増加。

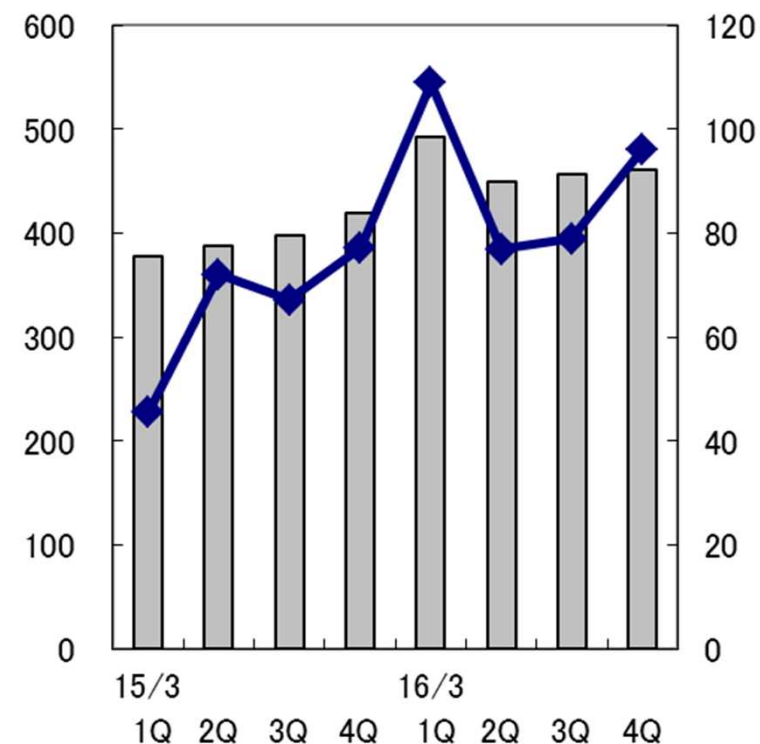
セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

単位: 億円

		15年3月期	16年3月期	増減	
売上高	東レ	931	1,070	+139	(+14.9%)
	国内	631	809	+178	(+28.3%)
	海外	1,389	1,637	+248	(+17.9%)
	修正	▲ 1,367	▲ 1,653	-287	
	計	1,584	1,862	+278	(+17.6%)
営業利益	東レ	168	220	+53	(+31.4%)
	国内	8	12	+4	(+44.6%)
	海外	126	181	+56	(+44.4%)
	修正	▲ 39	▲ 52	-13	
	計	262	361	+99	(+37.7%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



航空機需要の拡大や風車用途など環境・エネルギー関連需要の拡大を背景に、炭素繊維及び中間加工品(プリプレグ)の出荷が拡大。また、2014年後半及び2015年前半に生産を開始した新規設備が増産と拡販に寄与したほか、燃料電池自動車向けの製品の出荷が本格的に開始。

炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高比率】

単位：億円

	15年3月期		16年3月期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	780	49%	944	51%	+21%
スポーツ	160	10%	157	8%	-2%
一般産業	644	41%	760	41%	+18%
合計	1,584		1,862		+18%

航空宇宙：既存機向けの需要拡大に加え、ボーイング787向け出荷も好調に推移。

スポーツ：自転車用途は堅調に推移したが、国内ゴルフ市況の停滞や中国景気減速の影響を受けた。

一般産業：風車用途や燃料電池自動車用途の出荷等が堅調に推移。

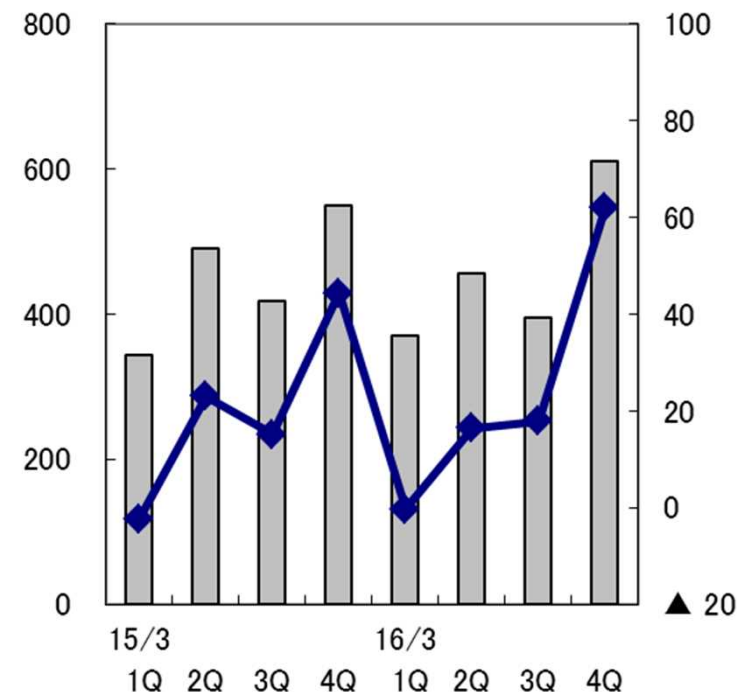
セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

単位: 億円

		15年3月期	16年3月期	増減	
売上高	東レ	230	215	-15	(-6.5%)
	国内	2,210	2,220	+11	(+0.5%)
	海外	250	269	+19	(+7.5%)
	修正	▲ 890	▲ 871	+19	
	計	1,800	1,833	+33	(+1.9%)
営業利益	東レ	7	15	+8	(+103.4%)
	国内	60	54	-6	(-10.3%)
	海外	19	33	+14	(+75.5%)
	修正	▲ 7	▲ 7	-0	
	計	80	96	+16	(+19.5%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



水処理事業 : コストダウンの進展や円安を背景に、逆浸透膜などの日本からの輸出について採算の改善が進んだ。また、海外では米国、中国、韓国の子会社の業績がいずれも堅調に推移。

国内 : エンジニアリング子会社でプラント工事が減少。

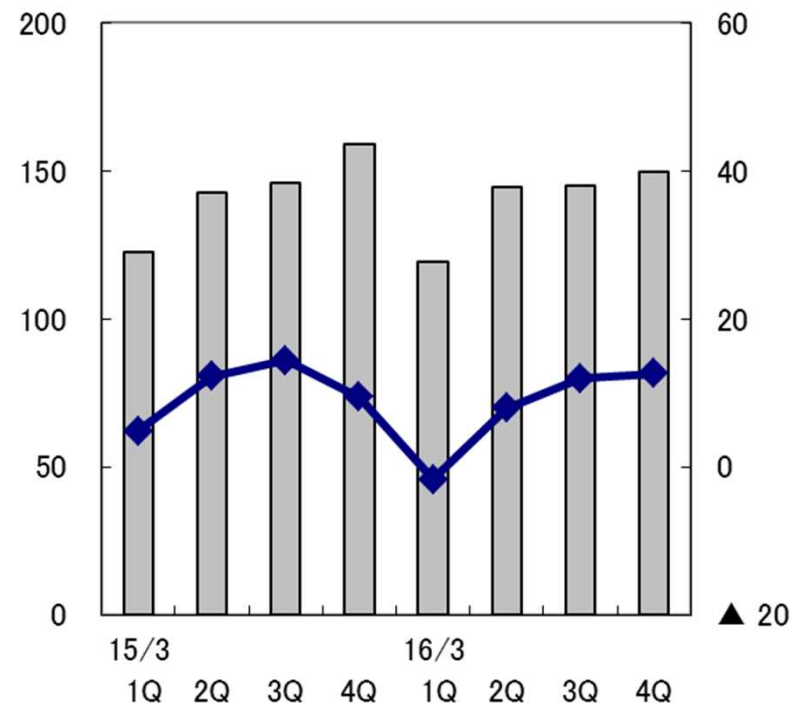
セグメント別業績(ライフサイエンス)

単位: 億円

		15年3月期	16年3月期	増減	
売上高	東レ	350	342	-8	(-2.2%)
	国内	399	404	+5	(+1.2%)
	海外	87	117	+30	(+35.2%)
	修正	▲ 265	▲ 305	-40	
	計	570	558	-12	(-2.1%)
営業利益	東レ	45	31	-14	(-31.7%)
	国内	6	9	+3	(+49.0%)
	海外	▲ 6	▲ 0	+6	(-)
	修正	▲ 4	▲ 8	-5	
	計	41	31	-10	(-24.7%)

売上高
＜棒グラフ＞

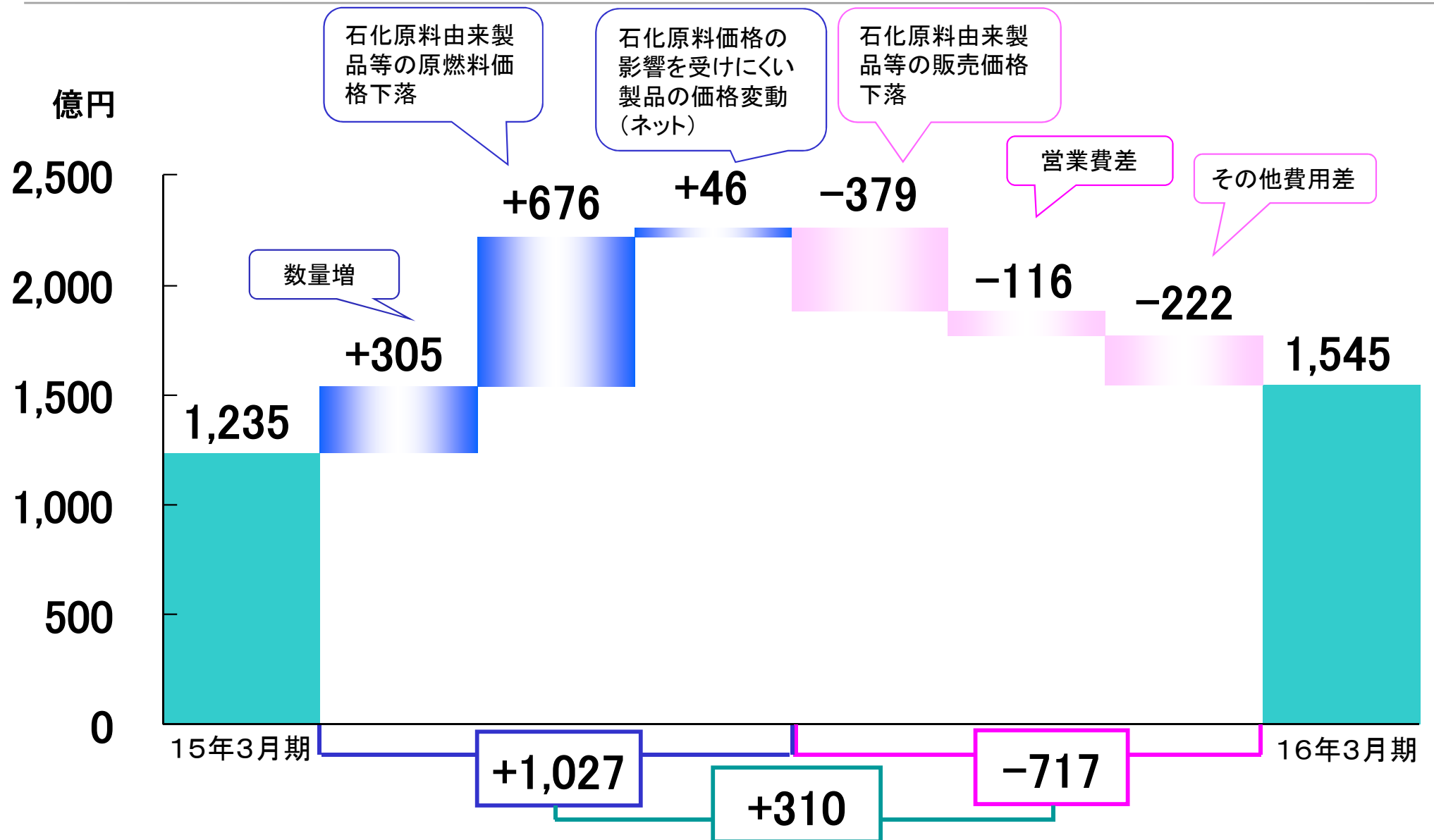
営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



医薬事業は、天然型インターフェロンβ製剤フェロン[®]や経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー[®]の出荷が、代替治療薬や後発医薬品の影響を受けたことなどにより低調に推移。また、ライセンス収入が減少。一方、経口そう痒症改善剤レミッチ[®]*は、国内における慢性肝疾患向けの効能追加承認を取得したことで、販売数量を伸ばした。医療機器事業は、ダイアライザーの出荷が拡大したことに加え、輸出採算の改善が進んだことから、業績は堅調に推移。

* レミッチ[®]は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

営業利益増減要因分析



石化原料由来製品等とは、繊維、プラスチック・ケミカル、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

主要子会社収益状況

億円

	売上高			営業利益			
	15年3月期 年間実績	16年3月期 年間実績	増減	15年3月期 年間実績	16年3月期 年間実績	増減	
東レインターナショナル	5,764	5,954	+190	114	126	+12	
東レエンジニアリング	856	907	+51	30	32	+2	
東レ建設	571	558	-13	19	23	+4	
東レフィルム加工	468	418	-51	25	15	-10	
東レ・メディカル	399	404	+5	6	9	+3	
TAK(韓国)	1,197	1,129	-68	111	111	-0	
TPM(マレーシア)	697	646	-50	32	49	+18	
在東南アジア・子会社 * 1	繊維	1,267	1,241	-26	65	86	+21
	プラスチック・ケミカル	835	789	-45	40	63	+24
	その他	80	81	+2	6	10	+3
	計	2,181	2,111	-70	111	159	+48
在中国・子会社 * 2	繊維	2,225	2,673	+448	164	212	+48
	プラスチック・ケミカル	855	773	-82	26	25	-0
	その他	208	267	+59	▲1	19	+20
	計	3,289	3,713	+425	189	256	+67
在外・フィルム子会社 * 3	プラスチック・ケミカル	1,077	1,029	-48	56	68	+11
	情報通信材料・機器	673	591	-82	95	67	-27
	計	1,750	1,620	-130	151	135	-16

* 1: ITS、ETX、ISTEM、ACTEM、CENTEX、TPJ、PFR、PAB-G、TTS、LTX、TTTM、TPM

* 2: TFNL、TSD、TJQ、TPN、TCH、TICH、TIHK、THK-G、TPCH-G、TPPH/TPPZ、TFH/TFZ、TBMC、TMQ、TFCC、TFN

* 3: TAK、TCK、PFR、TPA、TFE、TFH/TFZ、TAFK、TFN

* 上記アルファベットは各社の略称、金額は単純合計

従業員数、関係会社の異動

従業員数	人		
	15年3月末	16年3月末	増減
東レ単体	7,232	7,223	-9
国内連結子会社	10,299	10,520	+221
海外連結子会社	28,258	28,096	-162
合計	45,789	45,839	+50

関係会社の異動		社		
		15年3月末	16年3月末	増減
連結子会社 (a)	国内	58	60	+2
	海外	98	98	±0
	計	156	158	+2
持分法適用子会社 (b)	国内	27	26	-1
	海外	32	35	+3
	計	59	61	+2
子会社計 (a) + (b)	国内	85	86	+1
	海外	130	133	+3
	計	215	219	+4
持分法適用関連会社 (c)	国内	13	14	+1
	海外	25	21	-4
	計	38	35	-3
連結対象会社 合計 (a) + (b) + (c)	国内	98	100	+2
	海外	155	154	-1
	計	253	254	+1

Ⅱ. 2017年3月期連結業績見通し

2017年3月期連結業績見通し

		16年3月期 実績	17年3月期 見通し	対前年同期比 増減	
売上高	上期	10,286	10,800	+514	(+5.0%)
	下期	10,759	11,500	+741	(+6.9%)
	通期	21,044	22,300	+1,256	(+6.0%)
営業利益	上期	751	780	+29	(+3.8%)
	下期	794	920	+126	(+15.9%)
	通期	1,545	1,700	+155	(+10.0%)
経常利益	上期	755	780	+25	(+3.3%)
	下期	747	920	+173	(+23.2%)
	通期	1,502	1,700	+198	(+13.2%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	上期	494	500	+6	(+1.1%)
	下期	407	550	+143	(+35.2%)
	通期	901	1,050	+149	(+16.5%)
1株当たり 当期純利益	上期	30.93円	31.28円		
	下期	25.45円	34.41円		
	通期	56.38円	65.68円		
1株当たり 配当金	上期	6.00円	7.00円		
	下期	7.00円	7.00円		
	通期	13.00円	14.00円		

億円

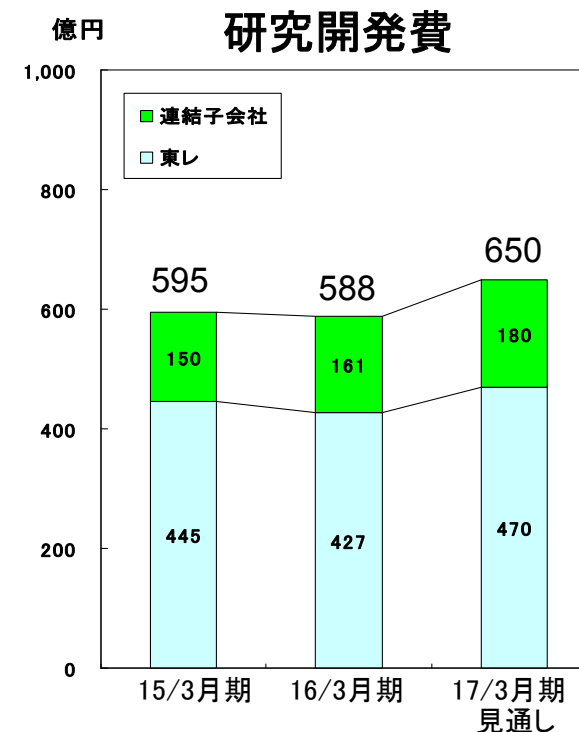
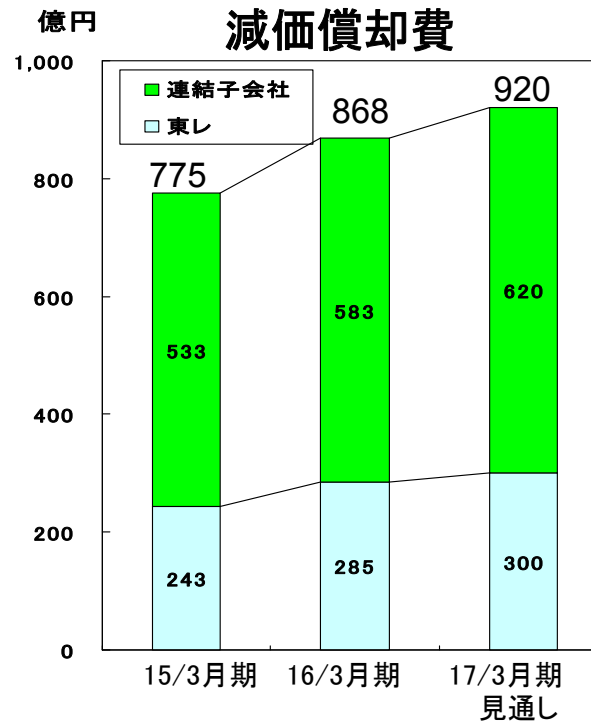
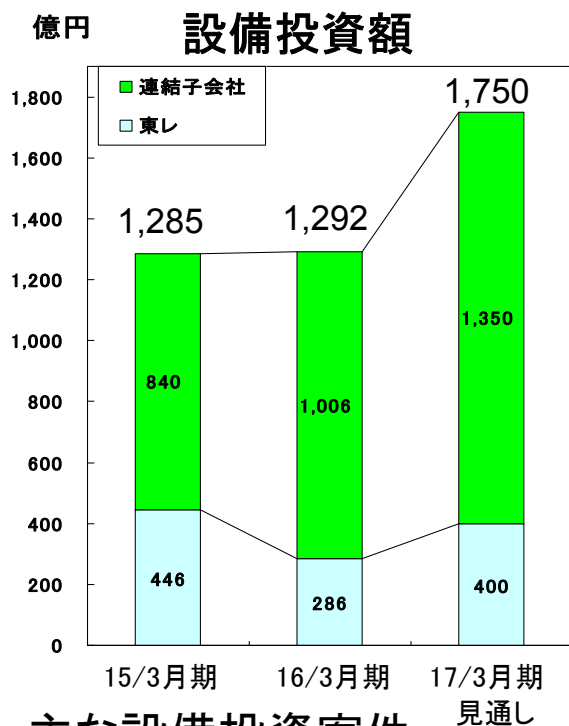
備考：為替レート的前提は、105円/US\$

セグメント別業績見通し (売上高／営業利益)

億円

		16年3月期 実績			17年3月期 見通し			対前年同期比 増減		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	繊維	4,358	4,562	8,920	4,500	4,600	9,100	+142	+38	+180
	プラスチック・ケミカル	2,572	2,640	5,212	2,700	2,700	5,400	+128	+60	+188
	情報通信材料・機器	1,250	1,261	2,511	1,350	1,450	2,800	+100	+189	+289
	炭素繊維複合材料	943	919	1,862	1,000	1,000	2,000	+57	+81	+138
	環境・エンジニアリング	826	1,007	1,833	900	1,300	2,200	+74	+293	+367
	ライフサイエンス	264	295	558	270	370	640	+6	+75	+82
	その他	72	75	147	80	80	160	+8	+5	+13
	連結	10,286	10,759	21,044	10,800	11,500	22,300	+514	+741	+1,256
営業利益	繊維	350	339	689	350	360	710	-0	+21	+21
	プラスチック・ケミカル	157	137	294	170	170	340	+13	+33	+46
	情報通信材料・機器	120	142	262	140	170	310	+20	+28	+49
	炭素繊維複合材料	186	175	361	190	190	380	+4	+15	+19
	環境・エンジニアリング	16	80	96	30	90	120	+14	+10	+24
	ライフサイエンス	6	24	31	5	45	50	-1	+21	+19
	その他	5	14	20	5	15	20	-0	+1	+0
	調整額	▲ 89	▲ 118	▲ 207	▲ 110	▲ 120	▲ 230	-21	-2	-23
連結	751	794	1,545	780	920	1,700	+29	+126	+155	

設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移



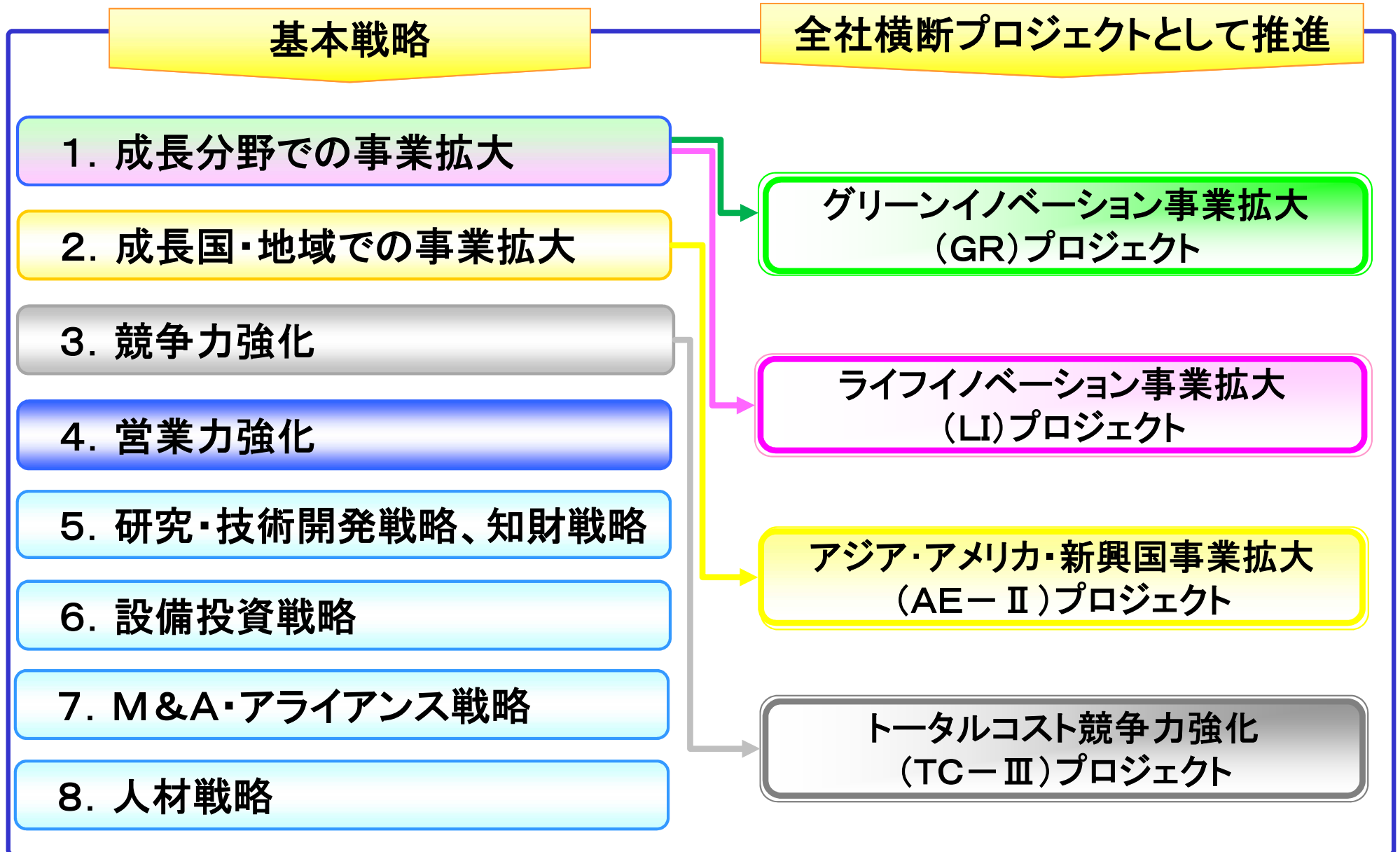
主な設備投資案件

【2016年3月期】 Toray Advanced Materials Korea Inc.: PPS(ポリフェニレンサルファイド)樹脂設備
 Toray Chemical Korea Inc.: ポリエステル短繊維設備
 Toray Composites (America), Inc.: 炭素繊維“トレカ®”プリプレグ設備
 Zoltek Companies, Inc.: ラージトウ炭素繊維設備

【2017年3月期】 P.T. Toray Polytech Jakarta.: 高機能ポリプロピレン長繊維不織布設備
 Toray Carbon Fibers America, Inc.: 炭素繊維“トレカ®”プリプレグ貫設設備
 Toray Battery Separator Film Korea Limited: ポリエチレンフィルム設備

Ⅲ. “プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況

“プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況



“プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況

グリーンイノベーション事業拡大(GR)プロジェクト

2015年度の主な取り組み

・ボーイング社との炭素繊維“トレカ®”プリプレグ包括的長期供給契約の正式締結

- ・2005年11月に締結した契約を2015年から更に10年以上延長。
- ・今後の「787」「777X」両プログラムに対する供給総額は1.3兆円超となる見込み。



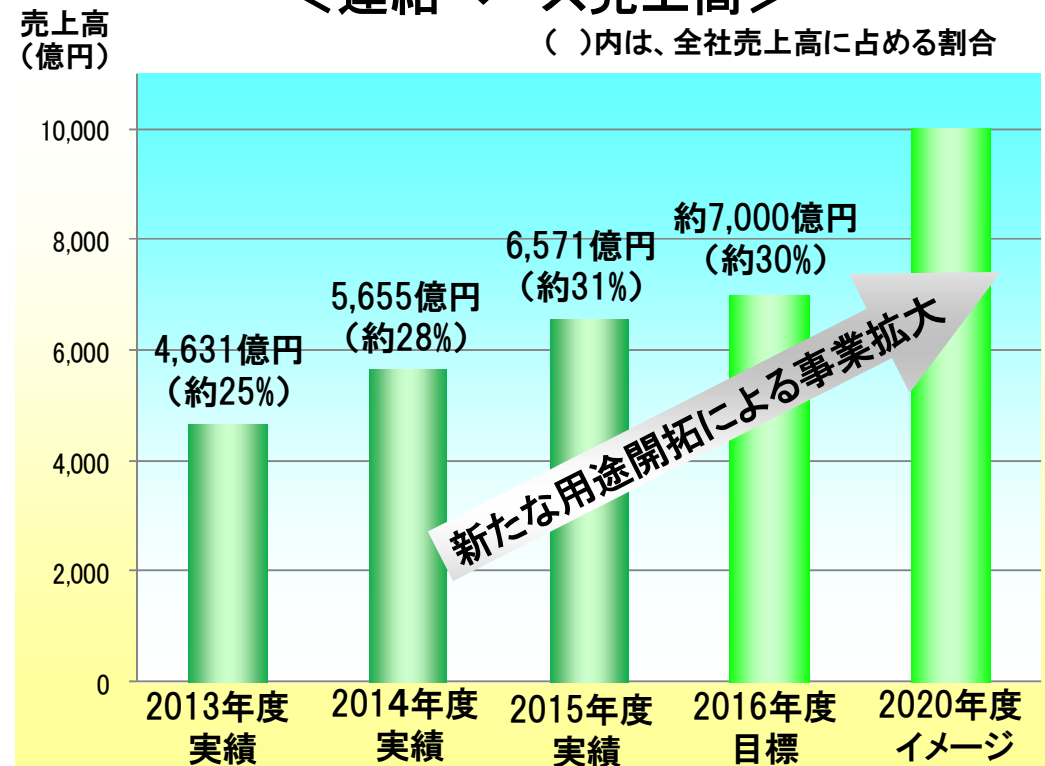
・中空糸限外ろ過(UF)膜“トレフィル®”の韓国最大膜ろ過水道浄水設備への受注決定

- ・韓国・麗水(ヨス)市
- ・処理規模134,000m³/日
- ・2017年稼働開始予定。



グリーンイノベーション事業の拡大計画 ＜連結ベース売上高＞

()内は、全社売上高に占める割合



“プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況

ライフイノベーション事業拡大(LI)プロジェクト

2015年度の主な取り組み

■生体電極用導電性テキスタイル“hitoe®”の展開

東レが提供するIoTを活用した作業者安全管理システム
やサービスの実証実験

大林組とNTTコミュニケーションズの取り組み

- ・建設現場のワークスタイル変革の推進により、就労者が安全に働ける環境の整備を目指す。
- ・2015年4月から開始。



日本航空とNTTコミュニケーションズの取り組み

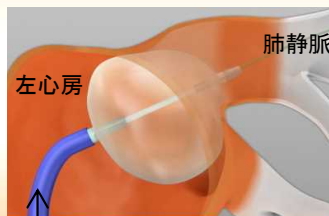
- ・空港での屋外作業者が安全に働ける環境の整備を目指す。
- ・2015年8月から開始。



(対象作業者イメージ)

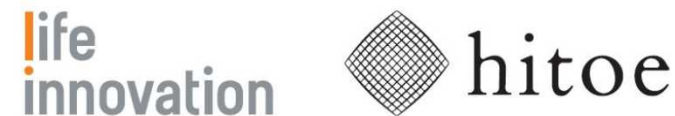
発作性心房細動治療用カテーテル・アブレーションシステムの承認取得

- ・“SATAKE・HotBalloon®カテーテル”、
- ・“SATAKE・HotBalloon®ジェネレータ”、
- ・“トレフルツ®”について厚生労働省より製造販売承認を取得



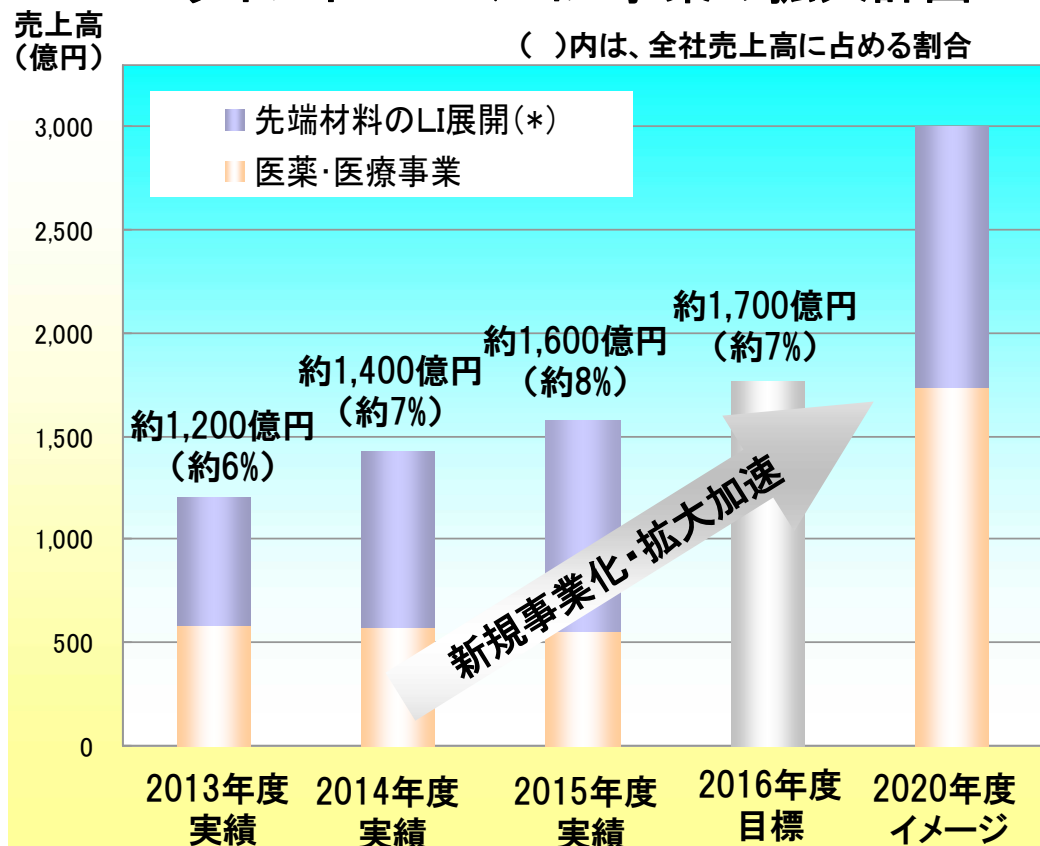
SATAKE・HotBalloon®カテーテル

- ・2016年4月販売開始



ライフイノベーション事業の拡大計画

()内は、全社売上高に占める割合



(*) 東レグループ概算

“プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況

アジア・アメリカ・新興国事業拡大(AE-II)プロジェクト

2015年度の主な取り組み

米国での炭素繊維“トレカ®”プリプレグー貫生産設備新設の決定

- ・米国サウスカロライナ州の新規事業用地に約500億円を投じ、原糸(プリカーサ)-焼成(トレカ糸)-プリプレグの一貫工場を建設。
- ・2015年11月に決定し、2017年5月より原糸から順次生産開始予定。

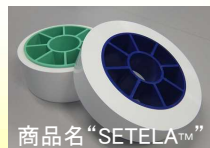
メキシコにおけるラージトウ炭素繊維の生産設備増強

- ・Zoltekのメキシコ工場において、年産5,000トンへ能力倍増。
- ・2016年3月に稼働開始。
- ・2020年までにはハンガリー工場を含む現有能力13,000トン/年を倍増する構想。

■ バッテリーセパレータフィルム(BSF)事業の拡大

韓国での生産能力増強

- ・東レバッテリーセパレータフィルム韓国において、130%の能力増強を実施。
- ・2016年内に稼働予定。

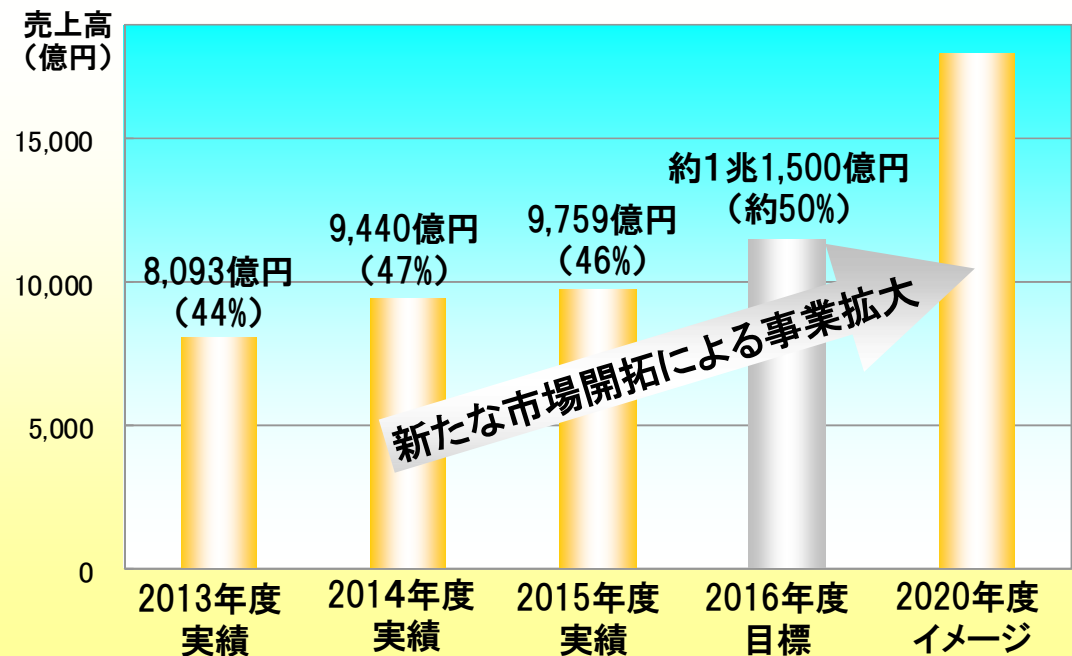


韓国でのBSF加工設備取得

- ・BSFのコーティング加工に関するLG化学社の設備を取得。

アジア・アメリカ・新興国事業の拡大計画

()内は、全社売上高に占める割合



“プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況

トータルコスト競争力(TC-Ⅲ)プロジェクト

2014～2016年度に合計2,000億円のコスト削減を目指す

TC-Ⅱの 継続

- ◆ 比例費削減活動の継続
(前年比3%以上、3年間で10%以上)
- ◆ P値管理による固定費管理の徹底
(毎年P値(*)0.96以下)
- ◆ 東レグループ全員参加による活動推進

生産プロセス 革新

- ◆ 新たな視点・アプローチから、大幅コストダウンに向けた革新的生産プロセスの構築
- ◆ 研究・技術・生産・工務が連携し、組織横断的に全社の総合力を活かして推進

営業トータル コストダウン

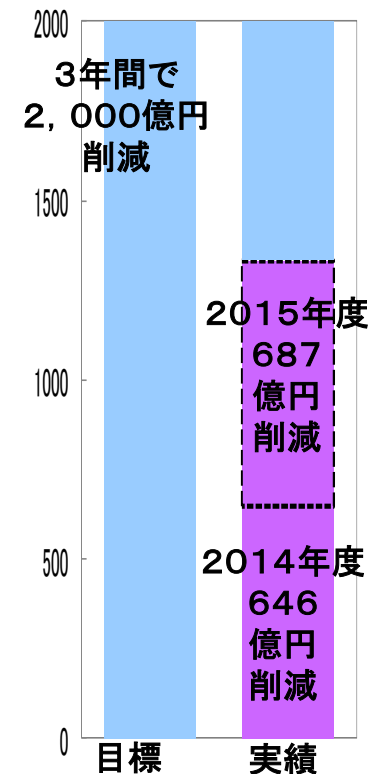
- ◆ 商社・代理店・外注等で発生する費用を含めた営業トータルコスト、物流・デリバリー機能などを分析・把握し、競争力の高いサプライチェーンを構築

15年度実績

比例費:
314億円削減
(削減率3.7%)

固定費:
140億円削減
(P値=0.97)

生産プロセス革新
と
営業トータルコストダウン
の効果
合計:234億円



* : P(Performance)値 = 固定費増加率 / 限界利益増加率 1.0以下もしくは予算との対比で事業毎に管理

“プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況

業績指標

<億円>

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度 見通し	2016年度 当初目標
売上高	18,378	20,107	21,044	22,300	23,000
営業利益	1,053	1,235	1,545	1,700	1,800
営業利益率	5.7%	6.1%	7.3%	7.6%	7.8%
ROA	5.5%	5.5%	6.7%	約7%	8%
ROE	7.5%	7.7%	9.3%	約10%	10%

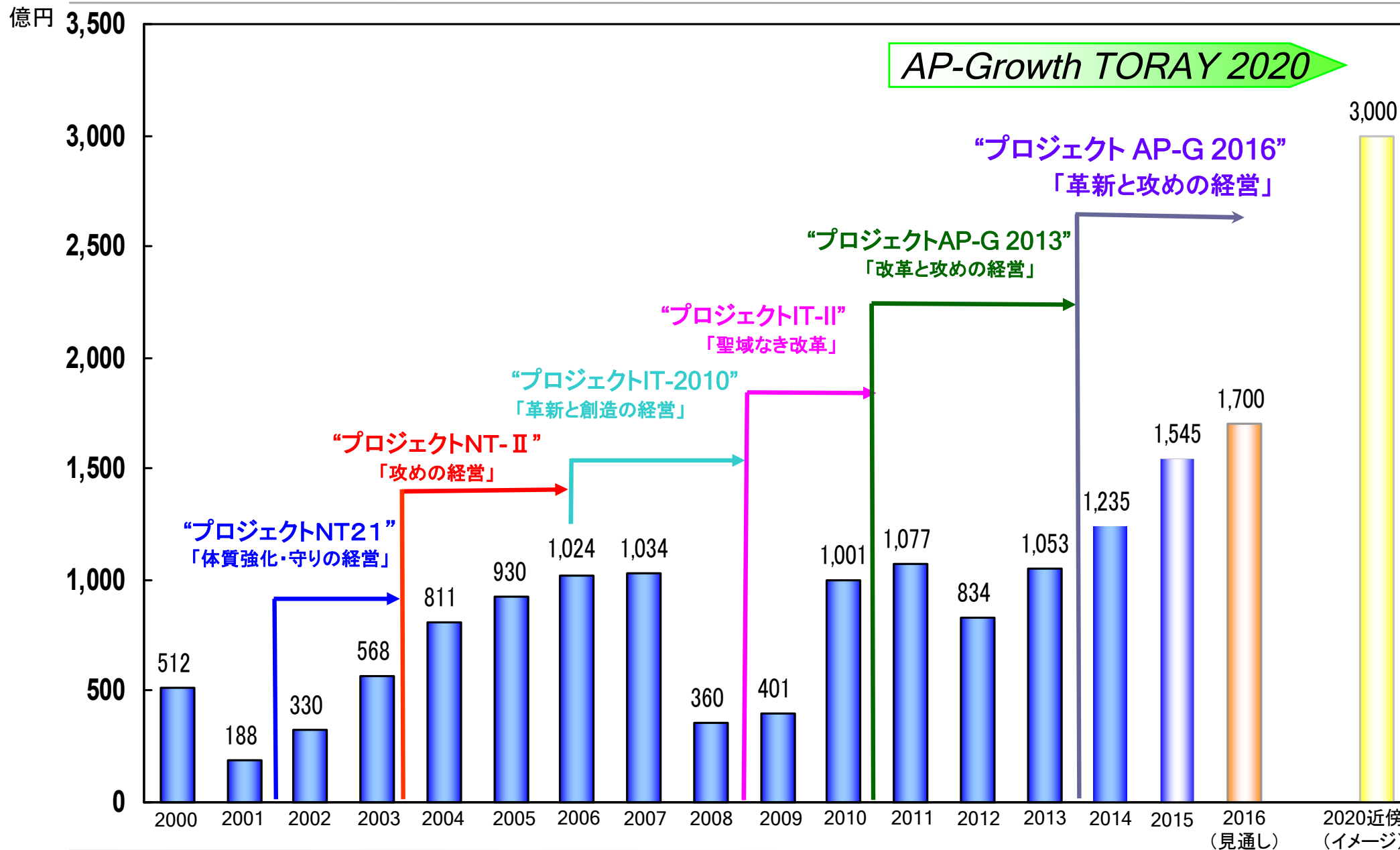
ROA= 営業利益／総資産

ROE= 親会社株主に帰属する当期純利益／自己資本

配当方針：業績に連動した継続的な配当増

D/Eレシオ・ガイドライン：1以下

連結営業利益の推移



本資料中の2017年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

'TORAY'

Innovation by Chemistry